

事業所における自己評価結果(公表)

公表： 令和6年1月26日

事業所名： いまここ大泉学園

チェック項目			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	(1)	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			設備・備品の導入時には、スペースを有効に使えるよう考慮しています。	
	(2)	職員の配置数は適切であるか	○			指定基準以上の職員を配置しています。	児童指導員等加算の算定基準を満たす配置を目指します。
	(3)	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	設備のバリアフリー化は、費用面で難しいのが現状です。特に、トイレに課題があります。外階段の手すりは、大家さんが取り付けてくださいました。	トイレの改修を検討します。
業務 改善	(4)	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			ケース検討会議およびサービス提供前の打ち合わせには、すべての職員が参加し、支援目標を確認し、支援内容を話し合っています。支援終了後には、すべての職員が、児童発達支援管理責任者に報告しています。	
	(5)	保護者等向け評価票を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート調査を継続するとともに、「サービス提供の記録」でのやりとり、面談、保護者会を通じて、積極的にみなさまの意向等を把握するようにしています。	
	(6)	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			保護者会資料として、および、ホームページにおいて公開します。	
	(7)	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		第三者評価の実施を検討します。
	(8)	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事業所内研修のほか、練馬障害福祉人材育成・研修センターや東京都主催の研修に参加しています。	
適切 な 支 援 の 提 供	(9)	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			面談を積極的に実施しています。	
	(10)	子どもの適応行動の状況を測るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	標準化されたアセスメントツールは使用していませんが、利用開始前に、面接や調査票によって、利用開始時に必要十分な情報を得るようにしています。	アセスメントツールに関する研修に参加して、使用を目指します。
	(11)	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			(4)に同じ	
	(12)	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	○			決まった時程に沿って、それぞれのお子さんの放課後等デイサービス計画に応じた支援を行っています。集団活動については、学校休業日等に集団レクリエーションの時間を設けています。個別活動については、「遊びの時間」の枠の中で、遊びや友だち関係の展開に合わせて変化を持たせています。 また、ご家庭から要望があれば、必ず検討して、可能であれば全体に取り入れたい、個別に声をかけて実施しています。	今後も、それぞれのお子さんにとって適切な個別プログラムの立案・実施に努めます。
	(13)	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	○				
	(14)	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	(15)	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			(4)に同じ	

チェック項目			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	(16)	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			(4)に同じ	
	(17)	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録を有効に利用し、適切に共有できるよう、ケース記録システムを使用しています。	
	(18)	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			変化の速いお子さんもうらっしゃいます。定期的なモニタリングの他、必要があれば、保護者の方にご相談して、計画を見直しています。	面談にいらしていただくのはお手数かと思いますが、オンラインや家庭訪問といった方法もありますので、ご協力をお願いします。
	(19)	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			主に「自立支援と日常生活の充実のための活動」および「余暇の提供」を重視して、それぞれのお子さんの興味・関心に沿った支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	(20)	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	(21)	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校の情報は、保護者の方からご提供いただき、送迎時の対応・トラブル等については、保護者の方にご報告しています。また、放課後等デイサービス計画に、担当者会議の開催について記載しています。	学校等の関係機関が主催する担当者会議等の際には、ぜひ、お声掛けください。
	(22)	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			現在、医療的ケアが必要なお子さんはいらっしゃいませんが、すべてのお子さんについて「健康情報カード」を作成し、かかりつけ医療機関と連絡が取れるようにしています。	
	(23)	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		ご利用開始前の情報は、保護者の方に「調査書」へご記入いただいています。	
	(24)	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			学校の卒業によるサービス提供終了時には、進路先でご活用いただくことを想定して、3年間の支援内容を振り返る文書を保護者の方へお渡ししています。保護者の方にご同意いただけた場合は、進路先を訪問して、直接ご説明もしています。	
	(25)	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			練馬障害福祉人材育成・研修センター主催の、専門機関の講師による研修に参加しています。個別事例については、相談支援事業所との連携の中で助言を受けています。	
	(26)	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	毎年度、地域の方と交流する機会として、「地域交流会」を開催しています。	近隣の公共施設を利用したいと思います。
	(27)	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			代表の今井が「練馬区障害福祉サービス事業者連絡協議会」の運営委員および「練馬区障害者地域自立支援協議会」の委員を務めています。	
	(28)	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			「サービス提供の記録」へのご記入にご協力くださいますとありがとうございます。 「サービス提供の記録」だけでなく、気になることがある場合は、電話等でお子さんのご様子を伺ったり、お伝えするようにしています。	お子さんの状況について伺うとき、お伝えするとき、誤解のないよう努めていますが、日々の短いやりとりだけでは不十分な点もあるかと思っています。随時、面談は実施しておりますので、どうぞご利用ください。メールやLINEも、ぜひ、ご活用ください。
	(29)	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			「サービス提供の記録」や面談を通じて、個別にご相談いただいています。今後も、お困りごとなど、ご遠慮なくお知らせいただけたらと思います。また、当事業所のみで抱え込まないよう、相談支援事業所と積極的に連携を図っています。	

チェック項目			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明等	(30)	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			見学・面接・契約時にお時間をいただき、丁寧な説明を心がけています。	
	(31)	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			お気軽にご相談いただけたらと思います。「サービス提供の記録（裏面の予備欄、別紙でも結構です）」はもちろん、面談は随時実施しますし、電話やオンライン面談、家庭訪問でお話を伺っております。また、相談支援事業所と積極的に連携を図っています。	当事業所へ直接相談しにくいことでも、担当の相談支援専門員にお話しいただけましたら、事業所間で協議して、対応します。お困りごとを表へ出していただけるように、工夫してまいります。
	(32)	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者会を、保護者の方同士の交流の場と位置付けております。卒業生の保護者の方ともご連絡を取り続けております。	
	(33)	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			「苦情」には「要望」「提案」も含まれます。小さなことでもお知らせいただけるように、日頃から信頼関係の構築に努めてまいります。お子さんからの声を取りこぼさず、連携先とも共有するなどして、適切に対応するようにしています。また、いただいた声は「いまここ通信」でお知らせします。（「いまここ通信」への掲載にあたっては、個人が特定されないように配慮します。）	
	(34)	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			会報として「いまここ通信」を発行しております。	ウェブサイト上での情報提供についても、準備しています。
	(35)	個人情報に十分注意しているか	○			契約時に使用範囲・目的についてご説明し、同意の得られた範囲で使用しています。個人情報の含まれる書類等は、鍵付書庫に保管しています。職員には、誓約書に沿った対応を求めています。	
	(36)	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	○			文字、絵や写真のカード、サイン等、その方に合わせた手段を使用しています。	
	(37)	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか		○		日頃から、入居しているマンションの住民の方とは、あいさつし合う関係を築いています。事業所の存在を地域の方に知っていただく機会となるよう、毎年「地域交流会」を開催しています。	
非常時等の対応	(38)	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				改善につながるご意見・ご提案がございましたら、積極的に取り入れてまいります。
	(39)	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			火災発生を想定した避難訓練、および安否確認訓練を実施しています。	地震発生時の初期対応の訓練も実施する予定です。
	(40)	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			虐待防止対応規程に基づいて対応しています。	
	(41)	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体的拘束適正化のための指針に基づいて対応しています。	
	(42)	食物アレルギーのある子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				
	(43)	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。